



Veritas Alta™ Recovery Vault を 使用すべき主な理由

エアギャップによる最新のデータ分離手法で
ランサムウェアから保護

データ分離の重要性

サイバー攻撃は進化し、インフラとバックアップシステムを積極的に標的にして貴重なデータを盗み出し、暗号化して人質にしています。堅ろうなセキュリティ対策があれば攻撃を防ぐことができますが、こうした攻撃は検出を回避するように設計されています。2022年には、標的になった企業の56%がシステムとデータを回復するために身代金を支払いました。

企業が脅威を阻止し、データの損失やダウンタイムを防ぐには、3-2-1ルールに沿ったバックアップ戦略を最新化して、セキュリティ検出を回避する攻撃に対応する計画を策定する必要があります。この戦略には、プライマリコピー、バックアップコピー、仮想のエアギャップによって分離されたコピーの3つを含める必要があります。この最新のアプローチによってサイバー脅威に対するセキュリティ体制と保護が強化され、従来の物理的なエアギャップの手法に比べて柔軟性と効率が向上します。

Veritas Alta Recovery Vault

Veritas Alta Recovery Vault は、仮想のエアギャップを使用した、改ざん不可能なクラウドベースのデータ分離環境です。大規模で広範囲なランサムウェア攻撃が発生した場合に、重要な最後の砦として機能するように設計されています。

3-2-1 ルールに沿ったバックアップ戦略

3 カ所以上にデータをコピー



2 つのコピーを異なる種類のストレージに保存



1 つのコピーをオフサイトに保管



改ざん不可能



1. ランサムウェア攻撃に対する耐障害性

Veritas Alta Recovery Vault は、すでにランサムウェア攻撃に対する耐障害性が高いベリタスのセキュリティ体制をさらに強化して、ランサムウェア感染の脅威から保護するためにデータコピーを分離し、緊急時のリカバリに使用するレイヤーを追加します。インフラを追加したり標準以外のポートを開いたりせずにこの強化を実現して、ランサムウェアの攻撃対象を限定します。

転送中および保管中のデータに複数の暗号化オプション（一部のサードパーティソリューションを含む）を使用できるため、データ漏えいを確実に防止できます。ベリタスは、独自の機能を提供してデータが Veritas Alta Recovery Vault に送信される前に異常検出スキャンを実行し、リカバリが必要になった場合に、良好と識別された最新のバックアップをより迅速に特定できるようにします。



2. コンプライアンス

Sheltered Harbor などの規制に対するコンプライアンスを確保するには、バックアップを含め、データを企業のインフラとは別の分離環境に配置する必要があります。さらに、分離されたコピーを変更不可能（改ざん不可能）にして暗号化する必要があります。

保管データを特定のリージョンまたは場所に保存してコンプライアンスを確保することで、データ主権の要件を満たします。



3. データリカバリの信頼性

最悪のシナリオが発生し、プライマリバックアップコピーが暗号化された場合は、分離されたコピーを保持することよりも、システムを完全かつ迅速にリカバリすることのほうが重要です。クリーンなデータを分離して保存していても、改ざん防止機能を使用して安全に保存していなければ感染する可能性があります。Veritas Alta Recovery Vault は、すべてのデータを改ざん防止機能で自動的に保護し、リストアの実行中にランサムウェアによってクリーンなデータが暗号化されるのを防ぎます。



4. リカバリのオーケストレーション

ダウンタイムによって業務が中断されないようにするには、多くの場合、強力なリカバリオーケストレーションプロセスを確保する必要があります。強力に保護され、分離されているデータコピーからのリカバリにも同じことが当てはまります。Veritas Alta Recovery Vault は、プライマリバックアップ (NetBackup™) と直接統合することで、サイバーレジリエンスを備えたアーキテクチャを強化します。これにより、ユーザーはクラウド上にあるストレージを含む複雑なリカバリプロセスをワンクリックでオーケストレーションできます。

他のベンダーのソリューションでは、まずサードパーティのクラウドストレージプロバイダが提供する複数の手順やログイン情報を使用して、クラウドストレージターゲットをプロビジョニングします。その後、提供されたアカウント情報を使用して、クラウドストレージを UI またはポリシーフレームワーク内に保存先として挿入する必要があります。Veritas Alta Recovery Vault を使用することで、回復力を持つアーキテクチャをさらに保護してリカバリオーケストレーションを迅速に実行できるため、余分な時間や複雑さが発生しません。



5. 統合

Veritas Alta Recovery Vault は、コアである NetBackup 製品と完全に統合されており、追加のツールやソリューションをインストール、習得、または管理する必要はありません。ほとんどのベンダーでは Veritas Alta Recovery Vault と同様の機能を提供していませんが、提供しているベンダーは、一般的に別の製品またはサービスによってこの機能を実現しています。



6. 保持管理

ベリタスは、データの保存場所や保存期間などのデータ管理は企業が行う必要があると考えています。

Veritas Alta Recovery Vault では、お客様のデータをクラウドに保存する期間に制限や制約を設けていません。このような管理は完全にお客様に任されています。それに比べて多くの競合他社では、クラウドストレージリソースの使用に関して制限または最大保存期間の制約を設けています。



7. データの最適化

NetBackup の強力で成熟した MSDP テクノロジーを基盤としているため、Veritas Alta Recovery Vault を使用してクラウドに保存されるデータには、データ重複排除が十分に適用されています。これにより、クラウドストレージの消費が最適化され、ストレージのコストが削減されます。ストレージの料金はバックエンドストレージの消費に基づくため、重複排除および圧縮テクノロジーを使用することでコストを最適化できます。



8. 所有コスト

多くのパブリッククラウドサービスプロバイダでは PUT/GET 操作、エグレス、およびその他のデータ転送の料金が請求されますが、Veritas Alta Recovery Vault の料金は固定のバックエンド TB 単位で設定されます。また、既存の NetBackup 配備と連携するように設計されているため、追加のインフラを配備する必要はありません。

このシンプルなライセンスにより、データ増加への対応策を自信を持って計画し、予期しない料金や隠れた料金の発生を回避することができます。Veritas Alta Recovery Vault は、標準層とアーカイブ層の 2 つのストレージ層を提供しており、お客様は自社のニーズに最適なりカバリ時間とコスト構造を柔軟に選択できます。

迅速なプロビジョニングからストレージの消費量に関する統合レポートと傾向分析、さらにシングルベンダーの強みを活かしたデータ保護ソリューション全体のテクニカルサポートまで、Veritas Alta Recovery Vault なら総所有コストを最小限に抑えてこれらのメリットを提供できます。

Veritas Alta Recovery Vault は、シンプルなサブスクリプションベースのライセンスとして、1 年または 3 年単位で利用が可能です。お客様の企業のニーズに最適なクラウドプロバイダおよびストレージ層（標準またはアーカイブ）を選択できます。

詳細はこちら

Veritas Alta Recovery Vault の詳細については、veritas.com/ja/jp/alta/recovery-vault をご覧ください。

ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

VERITAS[®]

ベリタステクノロジーズ合同会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階
www.veritas.com/ja/jp

各国オフィスとお問い合わせ先については、
弊社の Web サイトを参照してください。
veritas.com/ja/jp/company/contact